



第 14 回 ロータリー月例報告書

2021 年 10 月

10 月も既に半分が過ぎ、博士課程 2 年目も無事に始まりました。第 14 回目の月例報告書では 2021 年 9 月から 10 月までの生活状況をご紹介します。

先月から秋学期が始まっています。この新学期に向けて大学は学生や教員を含む全ての大学関係者にワクチン接種義務を課しており、基本的に授業は全て対面で行われています。寮制度にある学部生への接種はとりわけ徹底されているようで、その接種率は 99%を超えています。屋外では外し、室内ではマスク着用が義務になっています。卒業要件の必修科目は昨年度に全て取り終えていたので、今学期は学科の授業を履修せず英語クラスのみ受講しています。この英語クラスでは発音矯正に重点を置いており、対面のため週に 2 回教室へ通っています。これは留学生であっても必修ではないため、今のところ教員 1 人に対して受講者が 4 人程度しかおらず密度が濃いので気に入っています。MBA の学生が多数を占めており、交流の幅も広がって新鮮です。昨年の秋学期にも行った日本語のチューターを再開し、映画歴史を専攻している韓国人の博士課程学生を担当しています。今学期から学科による学生同士の交流イベントも多く開催され、時には毎週のように参加しています。学科の学生と知り合える場を多く用意してもらえるのは嬉しい限りなのですが、新しい人と自己紹介から始めて交流するには予想以上に体力を使うことに気が付きました。去年はそういった筋肉をほとんど一切使っていなかったため、慣れるまで少し時間が掛かりそうです。一人で黙々と研究を進めることもできるかも知れませんが、友達との雑談や息抜きも同じくらい大切なように感じます。

今学期は学会や単位の掛かった発表会が予定されていないため、研究では締め切りに追われることなく毎日自分のペースで進めています。変わったことと言えば、自分のオフィスを 4 階の中国人グループから 5 階のアメリカ人が多く居るスペースへ移動したことです。どちらの研究グループにも正式に所属しており、昨年の 1 年間は席が空いていたため 4 階のオフィスで過ごしました。しかし中国人と韓国人がフロアの過半数を占めていてどうしても英語が物足りなくなる時がしばしばあったため、先月から 5 階へ引越しました。5 階は前回の留学で滞在した研究グループが主に使っているため、懐かしい顔ぶれもあってより居心地が良いです。共有スペースでは 1 年生が集まって宿題をしており学期中であることを実感しています。

週に 2 回は研究室の後に友達と大学のジムへ行き定期的に運動をしています。今学期から音楽院のプログラムを活用し、写真の建物にてピアノの個人指導を修士課程の学生から受けています。週末は大学内のサッカー大会へ工学院チームとして参加しています。今月も自分のペースを大事にしつつ着実に研究を前に進められるよう努めたいと思います。いつも国際ロータリー財団様の多大なご支援を有難うございます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

